

VFOのタンク回路は、Hi-Cにすると周波数安定が良いという噂は本当か??。

\*\*\*\*\*

(1) 一般的なタンク回路の定数

【 F=5MHz、 BW=500KHz 】

下限発振周波数 4.98MHz  
上限発振周波数 5.52MHz  
バリコン最小容量 10.00PF  
バリコン最大容量 50.00PF                   ポリバリ 20pF x 2パラ  
コイル容量 4.75μH  
固定コンデンサ容量 164.96PF

==実際の実装値==

132pF = 100pF + 33pF  
4.75uH -> 8mmベークボビン 25t 0.15mm

(2) Hi-Cにしたタンク回路の定数

【 F=5MHz、 BW=500KHz 】

下限発振周波数 4.98MHz  
上限発振周波数 5.52MHz  
バリコン最小容量 7.00PF  
バリコン最大容量 131.00PF                   ポリバリ 1sec使用  
コイル容量 1.53μH  
固定コンデンサ容量 535.37P

==実際の実装値==

473pF = 220p + 220p + 33p  
1.53uH -> 8mmベークボビン 14t 0.3mm線

発振段TR エミッター帰還抵抗を、100オームから51オームへ変更

\*\*\*\*\* 注意 \*\*\*\*\*

設計ソフトによる固定コンデンサーの値と、実際の値が違うのは、  
発振回路(コルピッツ型)に入っているコンデンサーも、発振回路に含まれるので  
全体からその値を引いています。  
また、周波数設定用にトリマーコンが入っていますが、30pFの値の半分15pFを  
固定コンデンサーの値から引いています。